

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス はぐハウス		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 5月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	医療的ケア児の受け入れができる	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児受け入れの看護師配置があり、多職種により専門的な支援が受けられる ・医師との連携が取れているため保護者様が安心して利用できる 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的支援加算により支援の充実を図る ・福祉サービスについての知識や技術を深め、家族の相談や助言が行えるよう努める
2	多様な専門性を持つ職員が子ども達の支援に関わる体制づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士、理学療法士、看護師がそれぞれの専門性を生かして個々に合わせた支援を行っている ・他職種で連携を図り、同じ方向性をもって支援を行っている 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も多職種連携を継続し、よりよい支援につながるよう取り組む
3	風通しのよい職場の雰囲気	<ul style="list-style-type: none"> ・会議や日々の会話の中で、職員の悩みや困りごとの確認を行い、働きやすい職場であるよう努めている ・お互いの強みを活かせるように役割分担を行いながら支援や日々の業務にあたっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションを大切に、職員の強みを活かした支援ができるよう連携を図っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の広さ	<ul style="list-style-type: none"> ・1人あたりの広さは十分ありますが、バギーの台数が多いと手狭に感じることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の支援内容に合わせて室内のレイアウトを変更し、安全に活動できるようスペースを整えていく
2	地域との交流の機会	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のイベントへの参加や公共施設、公園や店舗の利用等、地域との交流が図れていると考えるが、地域の児童との交流は行えているとはいえない部分もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの活動を継続しながら、今後も関係機関や地域の方々との交流の機会を広げていけるよう取り組む
3	保護者様同士の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者様が交流できる機会が少ない ・保護者様やご兄弟が参加できるイベントが少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会の開催を続けていく ・参観や参加型イベントを企画し保護者様が関わりをもてる場の提供を検討する